

体育科学学位プログラム スポーツマネジメントコース（博士後期課程）												
養成する人材像	<p>体育スポーツに関連する普遍的並びに現代的問題の解決を目指し、幅広い学識と高度な専門的知識を有し、自立した教育者・研究者として高度の学術研究により国際社会に貢献できる人材を養成する。特に、スポーツマネジメントに関する理論および実践を統合した研究を自立的に遂行し、スポーツ組織の運営や社会課題の解決に資する知見を創出できる研究者を養成する。</p>											
教育研究の特徴	<p>現代社会においてスポーツに求められる役割は、ますます多様化・高度化しており、スポーツ特有のマネジメントのみならず、スポーツを通じた社会課題の解決に資する高度な理論的・実践的知見の創出が求められている。このため、スポーツマネジメント分野においては、実務に根ざした課題を学術的に探究し、新たな理論や方法論を構築する高度な研究が重要となっている。</p> <p>本学位プログラム（博士後期課程）では、博士論文の作成を中核として教育課程を展開する。学生は、自身の研究テーマに基づき、論文構想の立案、研究計画の策定、研究成果の発表および討議を段階的に行いながら、研究を深化させる。とりわけ、演習科目においては複数教員とのディスカッションを通じて研究内容を多角的に検討し、批判的思考を養うとともに、論理的説明力および議論展開力を高める。</p> <p>また、3年間を通じて研究の遂行方法および論文の執筆に関する継続的な指導を行い、独自の研究を主体的に推進する能力を体系的に涵養する。</p> <p>本プログラムにおける主たる研究領域としては、スポーツ組織マネジメント、スポーツ経営・マーケティング、ならびに健康スポーツや地域スポーツに関するマネジメント研究が挙げられる。学生はこれらの領域を中心に、自身の研究関心に即した課題を設定し、専門性の深化を図る。</p>											
修了後の進路	<p>大学教員/中学校・高等学校教諭（保健体育）/専門学校教諭スポーツ指導者/スポーツ競技団体職員/スポーツ関連機関職員/スポーツ関係企業人/ジャーナリストなど</p>											
年次・学期 科目区分	1年次				2年次				3年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目	身体総合学術特論	2										
研究群共通科目	研究報告演習	2										
	英語論文ライティング	(通年)	英語論文ライティング	2								
専修科目	スポーツマネジメント特論演習	2										
研究指導科目	体育科学研究Ⅰ	(通年)	体育科学研究Ⅰ	2	体育科学研究Ⅱ	(通年)	体育科学研究Ⅱ	2	体育科学研究Ⅲ	(通年)	体育科学研究Ⅲ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、12単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 2単位</p> <p>※「研究報告演習」は必修</p> <p>(3) 専修科目: コーチング科学学位プログラムの科目から2単位</p> <p>(4) 研究指導科目: コーチング科学研究Ⅰ～Ⅲの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>											
修了要件	<p>3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p>											
その他の学修・研究	学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 中間発表会 学会発表		学会発表		博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会	